

緊急連絡  
2011年3月14日

協会理事・監事、都道府県支部代表 各位

社団法人 日本てんかん協会  
会長 鶴井 啓司

## 「東日本大震災」における協会の対応について（第一報）

3月11日(金)に宮城県沖で発生したマグニチュード9.0の大地震と大津波によって、東北地方の太平洋沿岸域を中心に壊滅的な被害を及ぼしました。被災された皆様には、心からお見舞いを申し上げます。

時間が経つにつれ各地での悲惨な被害状況が明らかになり、たいへん憂慮しているところです。被災地にお住まいの会員・家族の皆様がご無事であったのか、くすりがなくてお困りの方がいないかとても心配ですが、被災地が広域に及び、交通網も至るところで寸断され、福島原発の放射能漏れにより避難地域が拡大されている現況では、現地での支援活動はまだ困難な状況にあります。各支部の皆様もご心配いただいていることとしますので、取り急ぎ協会対応の現状についてご報告いたします。

協会では、地震直後から被災地の支部への連絡を試み、会員の安否確認に着手しています。また、現地の主要なてんかん医療機関の稼働状況を確認するなど、情報収集にも努めています。しかしながら、広範囲での停電と通信障害などにより、電話(固定、携帯)、FAX、Eメールなどの通信手段が十分に機能せず、情報収集は思うように進んでいません。今後は、被害状況が明らかになるにつれ、会員・家族やてんかん患者への支援対策が協会の重要な役割になると予想されます。このため、本日(14日)に協会本部に「災害支援対策本部」(本部長：協会会長)を設置し、これからの支援活動について準備を進めることにしました。前述の情報収集活動に加え、マスコミへの医療情報の提供、医療機関や行政への支援の働きかけ、社会(市民)に対する支援の呼びかけなどにも取り組む予定です。今回の被災地域はこれまでにない広範囲であり、どれだけの支援ができるか急ぎ検討を行っています。阪神・淡路大震災における支援活動の経験も踏まえ、できる限りの努力をしていきたいと考えています。

今後、新たな情報や支援の方向等について、その都度ご報告いたします。各支部におかれましてもご理解、ご協力をお願い申し上げます。

社団法人 日本てんかん協会 (本部事務局/田所裕二、田中明子、岡田顕子)

〒162-0051 東京都新宿区西早稲田2-2-8 TEL. 03(3202)5661 FAX. 03(3202)7235